平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月８日

上場会社名　　高島株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　8007　　ＵＲＬ　http://www.tak.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）高島　幸一
問合せ先責任者　（役職名）経理ユニットマネージャー　（氏名）平川　知志　　ＴＥＬ　03-3567-0755
四半期報告書提出予定日　　平成25年８月８日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

百万円未満切捨て

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	21,161	7.5	337	8.5	500	46.3	299	53.3
25年３月期第１四半期	19,684	14.4	311	116.1	342	122.4	195	156.6

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　389百万円（－%）　25年３月期第１四半期　8百万円（△92.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	6.61	－
25年３月期第１四半期	4.31	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	38,553	10,001	25.9	221.12
25年３月期	36,453	9,793	26.9	216.51

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　10,001百万円　25年３月期　9,793百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	4.00	4.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		0.00	－	4.50	4.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	44,000	9.5	650	11.8	800	30.0	500	50.0	11.05
通期	93,000	11.8	1,700	36.2	1,900	29.5	1,050	14.4	23.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	45,645,733株	25年３月期	45,645,733株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	414,215株	25年３月期	411,965株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	45,232,643株	25年３月期１Ｑ	45,247,418株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日)におけるわが国の経済環境は、アベノミクスによる金融緩和・財政出動などによる景気回復期待を受けて、国内の需要は堅調に推移いたしました。アジアを中心とする新興国の景気減速などの懸念もありますが、東日本大震災の復旧も徐々に進捗しており、当社グループの事業と関連性の高い建築関連産業は堅調に推移いたしました。また再生可能エネルギー関連産業は、固定買取制度の施行などを受けて引き続き拡大しております。

このような環境の下、当社グループは太陽エネルギー分野、省エネ関連・震災復旧関連の分野の売上が増加しました。繊維資材、車輌部材、電子部品分野の売上は減少しましたが、全体では売上が増加いたしました。

この結果、当社グループの当期における売上高は21,161百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益は337百万円（同8.5%増）、経常利益は500百万円（同46.3%増）、四半期純利益は299百万円（同53.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材

建材事業売上の４割以上を占める太陽エネルギー関連分野では、特に産業用小規模物件の受注拡大により売上が増加しました。その他の分野も堅調に推移した結果、全体で売上は増加いたしました。また売上増加に伴い、セグメント利益も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は14,742百万円（同13.0%増）、セグメント利益は374百万円（同152.8%増）となりました。

②産業資材

樹脂製品分野は回復が見られたものの、繊維資材分野はシートハウスの受注が減少、車輌部材分野は端境期の影響、電子部品分野は市場全体の低迷を受けて受注が減少し、それぞれの分野で売上が減少したため、産業資材事業全体としては売上が減少しました。また売上減少に伴い、セグメント利益も減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は6,381百万円（同3.3%減）、セグメント損失は54百万円（前年同四半期は152百万円のセグメント利益）となりました。

③不動産賃貸

保有賃貸マンションの空室が微増したため、売上は微減となりましたが、前連結会計年度に売却したタカシマ名古屋ビルの経費発生が無いため、セグメント利益は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は37百万円（前年同四半期3.3%減）、セグメント利益は18百万円（同63.2%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末は、流動資産は30,388百万円（前連結会計年度末比7.2%増）となりました。 主な要因は、太陽光パネルの調達等により商品が965百万円増加し、債権流動化を取りやめたことにより受取手形及び売掛金が3,762百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は8,164百万円（同0.9%増）となりました。主な要因は、時価上昇等により投資有価証券が106百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は25,254百万円（同8.4%増）となりました。主な要因は、短期的な資金調達を債権流動化から通常の銀行借入に変更したことにより短期借入金が2,256百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は3,297百万円（同1.6%減）となりました。主な要因は、償還により社債が50百万円減少し、長期借入金が返済等により55百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は10,001百万円（同2.1%増）となりました。主な要因は、利益剰余金が四半期純利益の計上により299百万円、その他有価証券評価差額金が時価上昇により60百万円増加し、一方で配当金の支払により利益剰余金が180百万円減少したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,847百万円となり前連結会計年度末と比べ1,784百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間の営業活動における資金の減少は、3,747百万円（前年同四半期は1,098百万円の増加）となりました。主な要因は、債権流動化を取りやめたことで売上債権が増加したことと、太陽光パネルの調達等で商品が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間の投資活動における資金の減少は、31百万円（同179百万円の増加）となりました。主な要因は、金型の購入やソフトウェアの購入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間の財務活動における資金の増加は、1,956百万円（同75百万円の減少）となりました。主な要因は、短期的な資金調達を、債権流動化からコミットメントライン契約を締結した上での銀行借入に変更したことにより、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期第２四半期連結累計期間の業績につきまして、平成25年５月９日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、平成25年８月８日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,631	1,847
受取手形及び売掛金	20,312	24,074
商品	2,796	3,762
未成工事支出金	473	388
その他	1,262	456
貸倒引当金	△117	△139
流動資産合計	28,358	30,388
固定資産		
有形固定資産	3,202	3,190
無形固定資産	149	149
投資その他の資産		
投資有価証券	3,223	3,330
その他	1,650	1,586
貸倒引当金	△130	△92
投資その他の資産合計	4,743	4,824
固定資産合計	8,095	8,164
資産合計	36,453	38,553

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,469	19,566
短期借入金	1,902	4,158
未払法人税等	314	124
賞与引当金	376	194
役員賞与引当金	20	6
その他	1,224	1,204
流動負債合計	23,307	25,254
固定負債		
社債	150	100
長期借入金	805	750
退職給付引当金	423	396
その他	1,973	2,051
固定負債合計	3,352	3,297
負債合計	26,660	28,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	2,959	3,077
自己株式	△79	△79
株主資本合計	8,508	8,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	648
土地再評価差額金	798	798
為替換算調整勘定	△100	△69
その他の包括利益累計額合計	1,285	1,376
純資産合計	9,793	10,001
負債純資産合計	36,453	38,553

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	19,684	21,161
売上原価	17,896	19,238
売上総利益	1,788	1,923
販売費及び一般管理費	1,477	1,585
営業利益	311	337
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	41	43
持分法による投資利益	4	11
貸倒引当金戻入額	8	10
償却債権取立益	－	10
為替差益	－	86
その他	32	8
営業外収益合計	98	183
営業外費用		
支払利息	22	17
手形売却損	7	－
為替差損	34	－
その他	3	3
営業外費用合計	68	21
経常利益	342	500
特別損失		
投資有価証券評価損	12	－
特別損失合計	12	－
税金等調整前四半期純利益	329	500
法人税、住民税及び事業税	26	114
法人税等調整額	107	86
法人税等合計	134	201
少数株主損益調整前四半期純利益	195	299
少数株主利益	－	－
四半期純利益	195	299

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	195	299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	60
土地再評価差額金	△7	－
為替換算調整勘定	△9	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△186	90
四半期包括利益	8	389
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8	389
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	329	500
減価償却費	43	47
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	△17
賞与引当金の増減額（△は減少）	△214	△183
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△13
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△20	△27
受取利息及び受取配当金	△53	△55
支払利息	22	17
投資有価証券評価損益（△は益）	12	－
売上債権の増減額（△は増加）	2,376	△3,700
たな卸資産の増減額（△は増加）	△567	△826
仕入債務の増減額（△は減少）	△286	30
未払消費税等の増減額（△は減少）	△101	△43
その他	△96	781
小計	1,434	△3,489
利息及び配当金の受取額	51	55
利息の支払額	△21	△15
法人税等の支払額	△366	△298
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,098	△3,747
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24	△50
有形固定資産の売却による収入	209	0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△2	－
貸付金の回収による収入	4	19
その他	△5	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	179	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	104	2,209
長期借入金の返済による支出	△35	△65
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△90	△132
その他	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	1,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	38
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,211	△1,784
現金及び現金同等物の期首残高	3,120	3,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,332	1,847

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	13,043	6,602	39	19,684	－	19,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	2	2	△2	－
計	13,043	6,602	41	19,687	△2	19,684
セグメント利益	148	152	11	311	－	311

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	14,742	6,381	37	21,161	－	21,161
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	2	2	△2	－
計	14,742	6,381	39	21,163	△2	21,161
セグメント利益又は損失(△)	374	△54	18	337	－	337

（注）セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。